



青少年ピースボランティア育成事業

令和3年度報告

長崎市/公益財団法人 長崎平和推進協会



# 被爆地ナガサキの 継承 を考える



継承カフェ 被爆体験講話ではなくお茶を飲みながら被爆者とお話します

変えられない悲惨な過去がある限り  
私はその過去を語り継いでいきたい

それは 私たちの未来を変えるため  
その先の 世界を創るため

青少年ピースボランティア



「千羽鶴」合唱プロジェクト 2021 平和への思いを込めて「千羽鶴」を歌い、8月9日に動画を公開



青少年ピースボランティアについて

## About us

青少年ピースボランティア育成事業は、長崎市が平成 14 年度から、15 歳（中学校卒業）以上 30 歳未満の青少年を対象に実施しています。青少年が被爆の実相や戦争について学び、さまざまな視点から平和について考え、行動することにより被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ることを目的としています。なお、令和元年度より、長崎市から委託を受け公益財団法人長崎平和推進協会が実施しています。

### ■令和 3 年度登録者（令和 3 年 3 月現在）：171 人

所属内訳                      高校生：71 人   大学生（短大・大学院含む）：40 人   社会人：15 人   その他：45 名

※進学・就職について不明のボランティアについては、その他としています。

### ■活動内容

毎月の学習会や毎年 8 月 8 日、9 日に実施するイベント「青少年ピースフォーラム」の企画・準備、各イベントの司会進行や運営補助。

その他平和関連イベントへの参加や講座の聴講、自主企画活動、バスツアー、県外派遣研修（R3 年度はオンライン）など。詳細は「令和 3 年度 活動実績」（p.13,14）参照。

今年度は、（公財）長崎平和推進協会および国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で開催する他の事業における研修・講義やイベントについて、これまでより横断的に参加しました。

また、千羽鶴合唱プロジェクトを始め、継承カフェや英語で被爆体験を読む会など、ボランティアの自主企画や関心分野に沿ったチーム活動を試験的に運用しています。



# PICK UP

トライアルで行っているチーム活動、特に動きがあったチームを紹介

※チーム活動は希望者のみの参加です。

## 千羽鶴合唱プロジェクト



### 歌で平和を

思いを込めて「千羽鶴」を歌い、8月9日に動画を公開しました。コロナ禍、集まって歌うことが難しくリモート収録を編集して制作。意欲的なメンバーが多く、第2弾も進行中。リモートの利点をいかし、遠隔地からも参加予定です。

## Team ENGLISH



月に1回程度、被爆体験を英語で読む学習会を継続して行いました。被爆者の方が一緒に参加していただき、当時の状況を聞きながら追体験しています。

母国語ではない言語で読むことで、単語や表現にひっかかりを覚えるため、より、ていねいに想像できるようになりました。

もっと歴史を学びたい、というメンバーで構成されています。調べもの好きなメンバーで、今年度のバスツアーの訪問先はこのチームの発案で新規ルートを設定。

当日は他の参加者へのガイドもしてもらいました。

## 県外活動チーム

進学や就職で県外に出ても活動をつづけたいというメンバーが中心となって創設。

新企画進行中で、県外向けの長崎原爆学習教材を制作予定。現在、下準備として県外在住者へのアンケート調査中。新年度から本格制作に乗り出す予定です。

他に、各地の資料館等に赴き各地域のことを学び長崎のボランティアにも還元する予定。



## Team Study HISTORY



私たちの1年をご紹介します

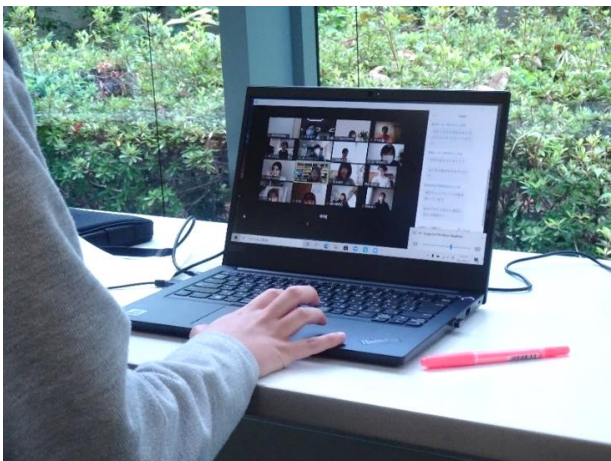


# Spring

オリエンテーション&長崎原爆についての学習

2021年4月17日(土) ボランティア説明会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前と午後各1回、いずれも対面とオンラインのハイブリット方式で実施しました。計55名以上が参加。気持ちを新たに新年度のスタートを切ります。



5月から6月上旬までは、新型コロナウイルス感染拡大に伴いオンラインでの活動となりました。

説明会に参加できなかった方やアイデア出しのためのフリートークセッションや、「青少年ピースフォーラム」の企画ミーティングを実施。被爆体験講話会の実施も困難となったため、池田道明さんの被爆体験の字幕付き動画を配信しました。

## 【視聴したボランティアの感想】

「戦争は人を変えてしまう」「戦争が一番の元凶。通常兵器はもちろん、それをはるかに超える原子爆弾は地球上で人間に使うことは許されない」という言葉が心に残った。今の時代を生きる私に、6歳の池田さんが経験したことは、想像してもしきれないものだったと思う。19歳の私が、もし6歳の池田さんの体験をしてみると、自分自身が崩壊すると思う。わけもわからず被爆して、死にかけの人、死んでしまった人を目のあたりにし、1人で被爆後の長崎をかけまわると想像するだけで不安と恐怖でいっぱいになる。例え長い年月が経ったとしても、その体験を思い返して人に伝えたいと思うか、わからない。体験していない私でも、このように感じるのだから、実際に被爆した方々には、もっともっと葛藤があったと思う。語ってくださることに感謝を忘れてはならないと改めて感じた。





# Summer

長崎原爆についての学習 (5月~8月)



6月20日(日)の学習会からは、対面での開催が復活。

8月のフォーラムに向け、企画を進めるとともに  
長崎原爆についての知識を蓄えます。

5月に動画を配信した池田道明さんと深堀譲治さんをゲストに迎  
え「継承カフェ」を開催しました。

また、ピースボランティアによるピースボランティアのための  
フィールドワークも実施しました。





# Summer

青少年ピースフォーラム企画・準備（5月～8月）

令和3年度の「青少年ピースフォーラム」は全面的にオンラインで開催。200人を超える人数で2日間にわたって実施することとなりました。

ピースボランティアは、司会原稿の作成をはじめ、被爆遺構のガイドの生中継準備、長崎原爆資料館の解説動画づくり、参加記念カードの作成、交流会の企画、意見交換の進行練習など多岐にわたり準備に取り組みました。



8月8日 8月9日

## 青少年ピースフォーラム・長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

ピースボランティアが主な企画、準備から当日の司会進行まで携わる「青少年ピースフォーラム」。

例年は全国から数百人の“青少年”が長崎に集まりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各自治体とオンラインを繋いでの開催となりました。

それでも 200 人以上が集まり、長崎原爆について学び、“平和とは何か”

“平和のためにできることはなにか” 意見を交わしました。

5月～8月は、ほぼ全ての活動時間をかけてこのイベントの企画・準備をしています。

今年度は8月9日の平和祈念式典も規模を縮小しての開催でしたが、ピースボランティアは水やおしぼりの配布、サテライト会場での案内などを担当しました。





一部の被爆遺構などを  
生中継ガイド

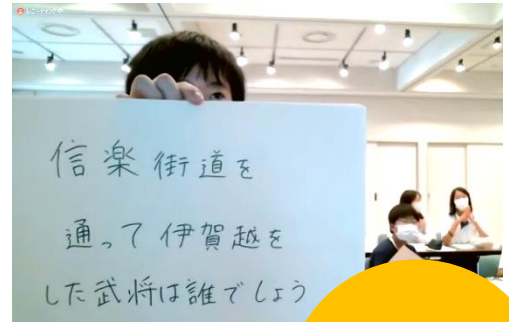


Opening

開会宣言  
長崎市長挨拶  
被爆体験講話

平和学習  
「長崎原爆の実相について学ぶ①」

原爆資料館内の展示物や  
被爆建造物等の紹介



オンライン交流会

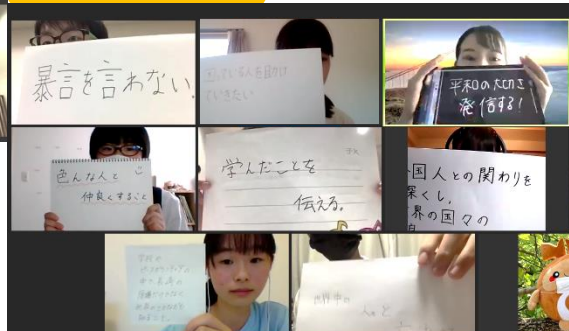


長崎原爆犠牲者  
慰霊平和祈念式典

平和学習  
「長崎原爆の実相について学ぶ②」

紙芝居朗読

グループに分かれて  
意見交換



# Autumn

“被爆者” 一人一人を知る

## 継承カフェ

Legacy Café

被爆体験講話ではなく  
おしゃべりしながら、  
一人の人を知る。



「被爆体験講話」ではなく、カフェでお茶を飲みながら。昔の話について、人生について、今のことについて、ざっくばらんに話がしたい。ボランティアの発案で実施しています。



原爆犠牲者慰霊・世界平和祈念 市民大行進・市民のつどい



国連軍縮週間に合わせて実施される「市民大行進」。ピースボランティアは参加者へ風船や飲料の配布などを行っています。今年是被爆樹木の苗木も配布され、人の体験だけでない“継承”のかたちに触れました。



国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で 被爆体験を読む・探す

企画展「浦上の記憶」見学

最期まで語り部であり続けたカトリック修道士、小崎登明さんについてのトークイベントを聴講。



# Winter 各地とつながる

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の主催イベントをはじめ、様々なイベントや交流会に参加しました。一部を紹介します。

トークセッションも貴重な体験となりました。  
国籍や生まれ育った環境の垣根を越えて様々な  
経験をされた方々の意見を1度に聴くことで、  
見聞を広める事が出来ました。



## 長崎国際平和映画祭

一部のピースボランティアが司会や運営補助を務めました。映画祭では長崎・広島  
の被爆者と米ハワイ・真珠湾攻撃の生存者のドキュメンタリー映画も上映され、監督（米国）と、出演した広島・長崎の被爆者のトークセッションもありました。



## 東日本大震災・

## 原子力災害伝承館（福島）

### との交流会

伝承館の「長崎特別展」が国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で開催されるのにあわせ、福島から震災の語り部やスタッフの方々が長崎にいらっしゃいました。交流会で話を聞いたピースボランティアからは、「体験者の減少による歴史の風化」についても言及がありました。  
長崎と福島は連携し互いに学び合うことができると確信しました。



## アジアの若者による

## 平和ネットワーク構築プログラム

「コロナ禍での発信-世界を知り、社会とつながる核廃絶」

—マレーシア・韓国・広島・沖縄・長崎

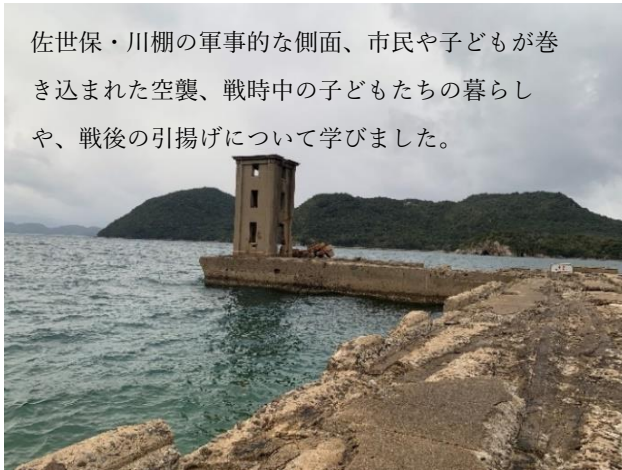
オンライン広島研修 (p.12)

# Field Trip

様々な地域・立場から見た“戦争”を学ぶ

## 長崎県北部バスツアー

佐世保・川棚の軍事的な側面、市民や子どもが巻き込まれた空襲、戦時中の子どもたちの暮らしや、戦後の引き揚げについて学びました。



《訪問先》

浦頭引揚記念資料館・浦頭引揚記念平和公園、  
弓張岳展望台/砲台跡広場（旧佐世保海軍警備隊田  
島岳高射砲台跡）  
佐世保空襲資料館、無窮洞、魚雷発射試験場跡 等

## 参加ボランティアの感想

今回のツアーでは、日本の被害の面（空襲）や、軍事面（片島、弓張岳）に加え、戦中戦後の人々の様子（引き揚げ、無窮洞）についても学ぶことができ、多角的に考えることができたのが良かった。

長崎県は軍事的な施設も多く、戦略的に重要度も高い都市であったため、太平洋戦争時の遺跡が大量に残っている一方で、平和教育には用いられにくい軍事施設跡はスルーされがち。大きく情勢が動き、戦争について考えなければならないこの時にこそ、今後日本が、世界がどのように進むのか、進むべきなのかについても考えられるのではないかと思います。



自分と歳があまり変わらない子供たちが、戦時中、鉄が手に入りにくかった時代に必死に集めた鉄を使って穴を掘り、学び舎をつくって、子供たちはどう思っていたのかなと考えてしまいます。

戦争に様々な側面があるがゆえに、戦争を学び直すことが難しいということがわかりました。被害者、加害者の側面だけで判断するのではなく、世界情勢や国家の方針に人々が翻弄された結果、被害と加害の両方の性質を帯びたことも踏まえて戦争について考える必要があると思います。



# Field Trip

## オンライン広島研修



今年の県外研修は、広島・長崎両県がまん延防止等重点措置の対象となったことを受け、オンラインでの実施となりました。

現地に行って、見て学ぶことはできませんでしたが、被爆者 李 鐘根さんをはじめ、特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima や、そのインターンの学生、NPO 法人 Peace Culture Village など、広島を拠点に活動する方々の取り組みを知りました。次は対面で！という盛り上がりと共に、今回のつながりを次の機会につなげたいと思います。



李さんのお話を聞いて原爆の恐ろしさだけでなく、差別や偏見の恐ろしさも感じました。自分の出身地を言えないのは悲しいことですし、そのようなことで差別があってはならないと思います。原爆の体験をたくさんの人に伝えていくことは大切ですが、戦争により起ったたくさん悲しいことについても、身近な人からコツコツと伝えていけたらと思います。

私は李さんのような、日本人でない被爆者の方のお話を聞くのが初めてだったので、国籍が違うからこそその苦労や差別の経験をお聞きすることが出来た。こういった機会は、被爆の継承はもちろん、日韓のさらなる友好関係を築くための良い機会でもあったと感じた。第2部の ANT-Hiroshima の活動もとても分かりやすく知ることができ、こんな活動をされている人がいるんだ、と知る機会になってよかった。

令和3年度 活動実績 (学習会、関連イベントへの参加など)

※一部チーム活動を除く

開催日	活動内容	場所	参加人数
4月10日(土)	自主企画チーム リーダーMTG	オンライン/平和会館 平和交流スペース	10人
4月17日(土)	オリエンテーション	原爆資料館 平和学習室/オンライン	約55人
4月30日(金)	千羽鶴チーム キックオフ MTG	オンライン	4人
5月9日(日)	被爆体験講話の聴講 (動画配信)	オンライン (各自で配信動画視聴)	31人
5月9日(日)	フリートーク・フォーラム企画 MTG	オンライン	12人
5月16日(日)	青少年ピースフォーラム準備①	オンライン	15人
5月16日(日)	Team SDGs キックオフ MTG	オンライン	3人
5月21日(金)	表現チーム キックオフ MTG	オンライン	5人
5月22日(土)	Team Study History キックオフ MTG	オンライン	4人
6月6日(日)	青少年ピースフォーラム準備②	オンライン	14人以上
6月20日(日)	継承カフェ&青少年ピースフォーラム準備③	原爆資料館 平和学習室/オンライン/資料館、山王神社等	26人
7月4日(日)	青少年ピースフォーラム準備④	平和会館 平和交流スペース/オンライン	21人
7月11日(日)	青少年ピースフォーラム準備⑤	平和会館 平和交流スペース/オンライン	16人
7月17日(土)	青少年ピースフォーラム準備⑥	平和会館 平和交流スペース/オンライン	12人
7月24日(土)	青少年ピースフォーラム準備⑦	平和会館ホール/オンライン	22人
7月30日(金)	青少年ピースフォーラム接続テスト	オンラインほか	不明
8月1日(日)	青少年ピースフォーラム準備⑧	原爆資料館 平和学習室/オンライン	32人
8月6日(金)	青少年ピースフォーラム準備⑨	平和会館ホール/オンライン	12人
8月7日(土)	青少年ピースフォーラム準備⑩	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館/平和会館ホール/オンライン	32人
8月8日(日)	青少年ピースフォーラム 1日目	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館/平和会館ホール/オンライン	38人
8月8日(日)	青少年ピースフォーラム 交流会	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館/平和会館ホール/オンライン	20人
8月9日(月)	青少年ピースフォーラム 2日目	平和公園、原爆資料館、平和会館、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、オンライン	43人
8月16日(月)	青少年平和交流事業 研修①	オンライン(青少年平和交流事業)	3人
8月22日(日)	青少年平和交流事業 研修②	オンライン(青少年平和交流事業)	3人
8月31日(火)	千羽鶴チーム MTG	平和会館 平和交流スペース	2人
9月11日(土)	青少年平和交流事業 研修③	オンライン(青少年平和交流事業)	4人
9月26日(日)	Hawaii online study tour: Pre-Seminar	オンライン(青少年平和交流事業)	1人
9月23日(木)	Team ENGLISH	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	3人
10月6日(水)	千羽鶴チーム MTG	オンライン	5人



10月9日(土)	フォーラム反省会/後期オリエンテーション	平和会館 平和交流スペース/オンライン	24人
10月17日(日)	Hawaii online study tour: Main-Seminar	オンライン(青少年平和交流事業)	2人
10月24日(日)	Team ENGLISH	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館/オンライン	2人
10月30日(土)	市民大行進でのボランティア	平和公園ほか	10人
10月31日(日)	継承カフェ	平和会館 平和交流スペース	5人
11月2日(火)	千羽鶴合唱プロジェクト第2弾 MTG	オンライン	5人
11月7日(日)	Team ENGLISH	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館/オンライン	3人
11月20日(土)	学習会：祈念館見学・企画展トークイベント	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	4人
11月27日(土)	浦上川沿いの花植え	浦上川周辺	1人
12月4日(土)	東日本大震災・原子力災害伝承館 交流会	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	4人
12月5日(日)	Team ENGLISH	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館/オンライン	2人
12月7日(火)	伊王島小学校への出前講座	長崎市立伊王島小学校	2人
12月19日(日)	長崎国際平和映画祭	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館/オンライン	3人
12月23日(木)	国際基督教大学(ICU)オンライン原爆展	オンライン	3人
1月9日(日)	Team ENGLISH	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館/オンライン	3人
1月28日(金)	県外活動チーム 企画ミーティング	オンライン	4人
2月13日(日)	Team ENGLISH/APN 準備	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 研修室	2人
2月18日(金)	千羽鶴合唱プロジェクト 第2弾 撮影	長崎市深堀町	2人
2月25日(金)	Team Study History ミーティング	オンライン	2人
2月25日(金)	APN アイスブレイクセッション	出島メッセ長崎	4人
2月26日(土)	アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム(APN)	出島メッセ長崎	4人
3月9日(水)	千羽鶴合唱プロジェクト 第2弾 編集作業	平和会館 平和交流スペース	3人
3月12日(土)	NHK 広島放送局 被爆体験継承プロジェクト	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	7人
3月12日(土)	核兵器・国際社会についての講義	長崎原爆資料館会議室 (家族・交流証言事業)	11人
3月13日(日)	長崎県北部バスツアー	佐世保市・川棚町	5人
3月18日(金)	千羽鶴合唱プロジェクト 第2弾 編集作業	平和会館 平和交流スペース	3人
3月21日(月)	オンライン広島研修	平和会館 平和交流スペース/オンライン	8人

計：56回 R3年度 活動参加人数(延べ)：576人

Peace Volunteer

Since 2002

令和3年度

青少年ピースボランティア育成事業 報告



長崎平和推進協会

YouTube



Instagram



PEACE\_WING0809



長崎市

長崎市の平和・原爆

Facebook



お問い合わせ 公益財団法人 長崎平和推進協会

所在地 〒852-8117

長崎市平野町7番8号

電話番号 095-844-9922

FAX 095-844-9961

Eメール keishou@peace-wing-n.or.jp